

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 28.10.26 第 192 回国会第 4 号

10月26日(水)、第4回の委員会が開かれました。

## 1 ①人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律案(内閣提出、第190回国会閣法第41号)

### ②衛星リモートセンシング記録の適正な取扱いの確保に関する法律案(内閣提出、第190回国会閣法第42号)

- ・鶴保国務大臣、石原内閣府副大臣、豊田内閣府大臣政務官、武井外務大臣政務官、小林防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・両案に対し、池内さおり君(共産)が討論を行いました。
- ・①について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
(賛成—自民、民進、公明、維新 反対—共産)
- ・②について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
(賛成—自民、民進、公明、維新 反対—共産)

(質疑者及び主な質疑内容)

### 牧 島 かれん君(自民)

- ・我が国の宇宙政策の方向性について、その指針を鶴保国務大臣に伺いたい。
- ・衛星リモートセンシング記録が悪用されることへの懸念に対応するため、どのような対処が予定されているのか伺いたい。
- ・国際連合宇宙平和利用委員会(COPUOS)等の国際的な枠組みでの宇宙開発利用のルール作りに、我が国も積極的に参加すべきと考えるが、外務省の見解を伺いたい。

### 佐 藤 茂 樹君(公明)

- ・人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律案第1条の目的において、産業振興の理念を明記しなかった理由について伺いたい。
- ・同法律案第9条に規定された「賠償措置額」の目安及び「相当措置」の具体的な内容について伺いたい。
- ・「衛星リモートセンシング記録の利用が国際社会の平和の確保等に支障を及ぼすおそれがあると認めるに十分な理由があるとき」として想定される具体的な理由・事態を伺いたい。

### 緒 方 林太郎君(民進)

- ・日米衛星調達合意は我が国における宇宙産業振興の阻害要因の一つと考えられるが、鶴保国務大臣の見解を伺いたい。
- ・通常であれば条約の締結とあわせて担保法が整備される

が、宇宙諸条約については何十年も担保法が整備されなかった理由について伺いたい。

- ・安全保障の観点から、衛星リモートセンシング記録取扱者の認定については細心の注意を払うべきと考えるが、鶴保国務大臣の見解を伺いたい。

### 高 井 崇 志君(民進)

- ・平成20年の宇宙基本法制定時の衆参内閣委員会における決議で、同法施行後2年以内を目途に宇宙活動に係る規制などに関する法制を整備するよう努めることとされているにも関わらず、両法律案の提出が平成28年になった理由は何か。
- ・高度道路交通システム(ITS)の政府の推進体制を伺いたい。
- ・公的機関が保有するオープンデータについて、政府の取組を伺いたい。

### 島 津 幸 広君(共産)

- ・我が国における宇宙開発及び利用は平和目的に限るとした、昭和44年の「わが国における宇宙の開発及び利用の基本に関する決議」(衆議院本会議)は現在でも有効か。
- ・我が国における情報収集衛星の打上げ数及びその目的を伺いたい。
- ・「衛星リモートセンシング記録の適正な取扱いの確保に関する法律案」が研究活動を制約するのではないかとの研究者の不安にどのように対応するか。

### 浦 野 靖 人君(維新)

- ・H-IIAロケットの後継機とされるH3ロケットの開発状況を伺いたい。
- ・我が国における有人飛行の今後の方向性を伺いたい。
- ・我が国の今後の宇宙開発利用に対する鶴保国務大臣の決意を伺いたい。